

演題

山口権三郎と 明治の長岡

明治の新潟県の実業界に大きな足跡を残した「山口権三郎」
長岡小国出身の偉人について、映像を交えながらわかりやすく
お伝えします。お気軽にご参加ください。

講師

小国文化フォーラム
事務局長

高橋 実氏



Profile

昭和15年 新潟県刈羽郡小国町生まれ。
新潟県立長岡高校、新潟大学教育学部卒。
著書「雪残る村」が第52回芥川賞候補となる。
平成13年3月に38年間の教職を定年退職し、
その後、新潟県立女子短期大学非常勤講師、
新潟県民俗学会常任理事などを歴任。
現在は、小国文化フォーラム事務局長、小国
観光ガイド「おぐりんの会」会長、長岡民話
の会顧問、全国木喰研究会事務局長など要
職を務める。

長岡の発展に尽力した
文明開化の恩人

山口権三郎

1838-1902



明治時代の政治家、実業家。
天保9年6月9日生まれ。
越後横沢村（新潟県小国町）の庄屋。
明治12年第1回県議員選挙で当選、翌
年議長となる。
第四国立銀行、日本石油、北越鉄道の設
立などにかかわった。
明治31年信越線、直江津・新潟間の開通
に尽力した。
石油産業に注目し、内藤久寛とともに石油会
社を興し、石油の町長岡の発展に貢献する。
小千谷に水力発電所を造った。
あらゆる産業の中心に銀行業があるとして、
小千谷金融会社・長岡銀行を設立、現在
の北越銀行の前身となった。
明治の新潟県と長岡にとって大きな足跡を残
した。
明治35年10月12日死去。65歳。

日時

11月12日 日

午前10:00～11:00【開場 午前9:30】

会場

小国商工物産館 2階研修室

長岡市小国町法坂 738 番地 1
☎0258-95-3711

定員

先着100名

参加無料

申込
方法

聴講を希望される方は、電話でお申し込みください。

長岡市小国支所地域振興課 ☎0258-95-5905